

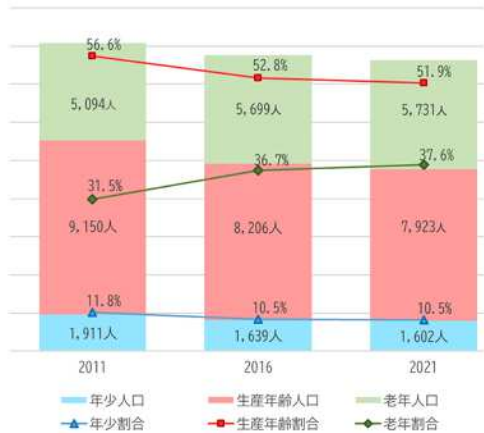
目的

八王子市では、公共施設マネジメントの推進の取組として、中学校区を1つの圏域として生活圏域施設*の再編を進めていくとしています。その具体的な取組として、地域づくり推進事業と連携した長房中学校区における公共施設再編を推進し、再編に当たっては、「八王子市公共施設マネジメント基本方針」の基本理念である『市民と行政との協働により、将来にわたり住みよいまちづくりを実現する』ことを目的とします。

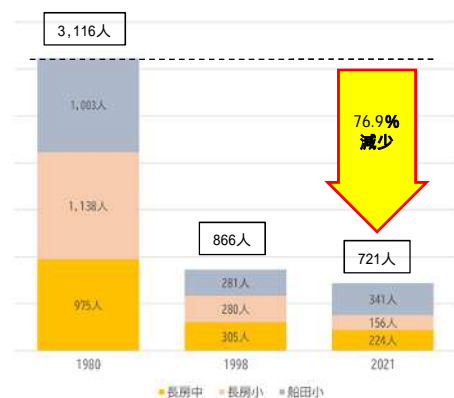
*生活圏域施設 … 小学校や中学校のように日常生活圏内で利用される施設

長房中学校区の課題

長房町・城山手の人口推移



長房中学校区の児童・生徒数推移



- ◆ 八王子市でも高い高齢化率の一方、年少人口は一定程度維持していることを勘案した施設再編
- ◆ ピーク時である昭和55年(1980年)より76.9%減少(-2,395人)した児童・生徒数を踏まえた学校再編

公共施設再編の基本的な考え方

- ◆ 長房中学校・長房小学校・船田小学校について、小中一体型校舎を整備し義務教育学校へ再編します。
- ◆ 義務教育学校は、ハザードマップで示された土砂災害等の影響を回避した配置を前提に、長房中学校・船田小学校敷地での整備を検討します。
- ◆ 義務教育学校は、より身近な公共施設となるよう複合化・多機能化(保育園、学童保育所)を検討します。
- ◆ 複合化・多機能化に伴い、周辺公共施設の適正配置を検討します。
- ◆ 長房小敷地・校舎については、民間活力導入や敷地の一部売却・貸付を含めた利活用を検討します。

公共施設再編の効果

持続可能な地域に向けた
施設の柔軟な配置

施設総量の適正化
ライフサイクルコスト縮減

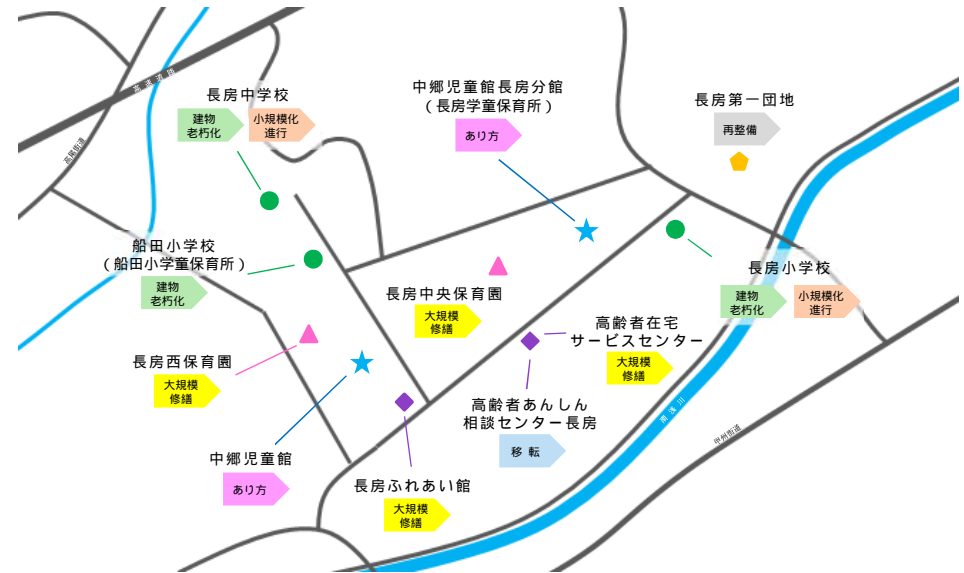
施設老朽化の改善

スケジュール

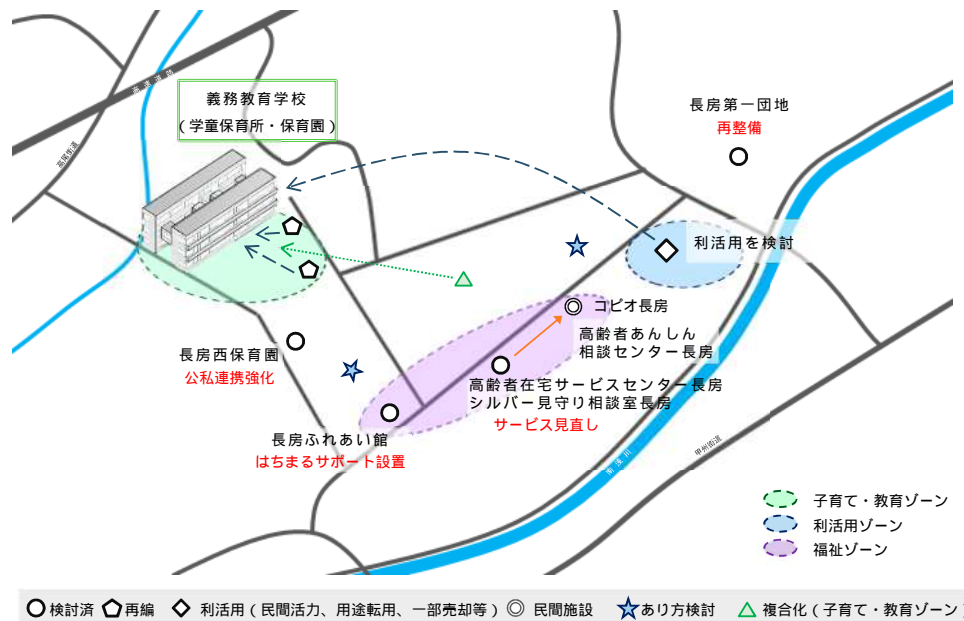
2021	2022
施設再編の基本的な考え方	既存建物(学校)耐力度調査 学校整備方法の決定

公共施設の課題と再編

【公共施設の配置と課題】



【再編の基本的な考え方】



○検討済 ○再編 ◇利活用(民間活力、用途転用、一部売却等) ◎民間施設 ☆あり方検討 ▲複合化(子育て・教育ゾーン)